

微生物学・免疫学Ⅱ

担当講座（分野）：微生物学講座（分子微生物学分野）

第3学年 前期

前期 講義 12.0時間 演習 3.0時間 実習 22.5時間

一般目標（講義）

歯科医師として最大のターゲットとなるう蝕と歯周病はともに口腔細菌による感染症であることから、その成立には微生物側の因子のみならず、口腔という局所の環境因子をも含めた宿主側の因子が大きく作用する。その他の口腔感染症をも含め、病因論に立脚した口腔感染症の知識、検証技術を習得することにより、生命科学の一分野としての口腔微生物学・免疫学についての理解が深まる。

事前学修時間（30分）

シラバスに記載されている次の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修（予習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。

講義日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月4日(月) 2限	下山佑講師	フローラ 人体および口腔の正常フローラについて理解する。	1. 人体各部の正常フローラについて説明できる。 2. 口腔のニッチとその構成細菌について説明できる。 3. 正常フローラと日和見感染症について説明できる。
4月11日(月) 2限 4月18日(月) 2限	下山佑講師	う蝕の細菌・免疫学 う蝕病原性細菌の性状とう蝕成立機序を理解する。	1. ミュータンスレンサ球菌の病原因子について説明できる。 2. う蝕の成立機序について説明できる。 3. う蝕成立機序に関わる宿主免疫系について説明できる。 4. う蝕免疫について説明できる。
4月25日(月) 2限 5月2日(月) 2限	下山佑講師	歯周疾患の細菌・免疫学 歯周病原性細菌の性状と歯周疾患の成立機序を理解する。	1. 歯周病原性細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯周疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯周疾患における Host-parasite relationship について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
5月9日(月) 2限	下山佑講師	歯内疾患の細菌・免疫学 歯内疾患の原因細菌の性状と歯内疾患の成立機序を理解する。	1. 歯内疾患の原因細菌の性状とその病原因子について説明できる。 2. 歯内疾患の成立機序について説明できる。 3. 歯内疾患における Host-parasite relationship について説明できる。
5月16日(月) 2限 5月23日(月) 2限	下山佑講師	その他の口腔感染症と微生物、院内感染 その他の口腔感染症、およびその原因菌について理解する。院内感染について理解する。	1. う蝕、歯周疾患を除くその他の口腔感染症について説明できる。 2. その他の口腔感染症の原因微生物について説明できる。 3. その他の口腔感染症における Host-parasite relationship について説明できる。 4. 歯科医療における院内感染とその予防法について説明できる
5月30日(月) 2、3限	佐々木実准教授 下山佑講師 石河太知助教	微生物学演習 講義、実習で修得した知識を確実なものとして深化させ、問題解決能力の基礎を身につける。	1. 講義、実習で理解できなかった項目を列挙できる。 2. 理解できなかった項目の学習方法を説明できる。 3. 理解できなかった項目について学習し、説明できる。 4. 提示された課題の問題点を列挙できる。 5. 提示された課題についての学習方法を説明できる。 6. 提示された課題の学習を通して、自ら新たな問題点を見出すことができる。

一般目標（実習）

微生物学・免疫学実習では、微生物の分離・同定法とビルレンス因子の性状解析を体験することにより、微生物学・免疫学の講義で修得した知識が深化する。さらに、自らの口腔内からのう蝕病原性細菌の分離、同定、性状解析を通じて、修得した知識を統合して、病因論からの歯科治療戦略を身につける。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月4日(月) 3、4限	佐々木実准教授 下山佑講師 石河太知助教	一般微生物学実習の概要と基本操作 一般微生物学実習の内容と到達点を理解する。	1. 培地と細菌培養法について説明できる。 2. コロニー形態とグラム染色について説明できる。 3. 空中細菌と手指細菌の検査法について説明できる。

月 日	担当者	ユニット名 一般目標	到達目標
4月11日(月) 3、4限 4月18日(月) 3、4限	佐々木実准教授 下山佑講師 石河太知助教	化膿球菌の同定と性状解析 化膿球菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. A群レンサ球菌とビリダンスレンサ球菌の性状について説明できる。 2. 黄色ブドウ球菌とコアグラージェ陰性ブドウ球菌の性状について説明できる。 3. レンサ球菌とブドウ球菌の性状の違いについて説明できる。
4月25日(月) 3、4限 5月9日(月) 3、4限	佐々木実准教授 下山佑講師 石河太知助教	う蝕病原性細菌の同定と性状解析 う蝕病原性細菌の性状、ビルレンス因子について知識を体得し、同定法への応用を理解する。	1. 口腔レンサ球菌の分類とニッチについて説明できる。 2. ミュータンスレンサ球菌の性状について説明できる。 3. <i>S. mutans</i> と <i>S. sobrinus</i> の違いについて説明できる。
5月16日(月) 3、4限 5月23日(月) 3、4限 5月30日(月) 4限	佐々木実准教授 下山佑講師 石河太知助教	口腔微生物学実習検討会および実習試験 口腔微生物学実習から学んだものを各自発表し、感染症の成立機序と口腔微生物学の意義について理解する。	1. 人体および口腔の正常フローラについて説明できる。 2. 感染症の成立機序とその予防法について説明できる。 3. 口腔細菌感染症としての齲蝕と歯周病の成立機序について説明できる。

教科書・参考書 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
教	口腔微生物学・免疫学 第4版	川端重忠ほか編	医歯薬出版	2016年
参	ロアット カラー基本免疫学	ピーター・J・デルヴスほか 著	西村書店	2011年
参	口腔内科学	尾崎登喜雄 編	飛鳥出版室	2008年
推	病原体とヒトのバトル:攻撃・防御そして共生へ	山田 毅著	医歯薬出版	2005年

成績評価方法

講義：小テストおよび授業態度 -----	10%
前期試験 -----	90%
実習：出席 -----	30%
レポート、口頭試問 -----	35%
実習試験 -----	35%

授業に使用する機械・器具と使用目的

[微生物学]

使用機器・器具等の名称・規格		台数	使用区分	使用目的
二槽式アルミバス	ALB-301	1	基礎実習・研究用機器	実習に使用する試薬の調製
分光光度計制御用パソコン一式	FMV-BIBLO FMVNE460R3	1	基礎実習・研究用機器	実習における細菌の成長の測定
実体顕微鏡一式	SZ4045他	3	基礎実習専用機器	実習における細菌コロニーの観察
コピー機	imageRunner IR2210F	1	基礎実習・研究用機器	講義・実習資料の作成
ハイオメディカルフリーザー一式	MDF-U442特型	1	基礎実習・研究用機器	実習用菌株の保存
パソコン一式	MacBookPro1.83D uoMA463J/A	2	視聴覚用機器	講義・実習講義のプレゼンテーション用
生物顕微鏡	CX31N-11	8	基礎実習専用機器	実習における細菌形態の観察
実体顕微鏡	SZ61-C-SET	12	基礎実習専用機器	実習における細菌コロニーの観察
ノートパソコン MacBook	MC240J/A	1	基礎実習・研究用機器	講義・セミナー・研究発表のプレゼン、資料作成
一眼レフ フリーアングル ライブビュースパーシステム	NY-E620	1	基礎実習・研究用機器	実習におけるコロニー形態の撮影
フリーザー付薬用保冷庫	MPR-414F	1	基礎実習・研究用機器	実習用試薬、バッファー等の保管
分析天秤	AB-265S/FACT11 139506	1	基礎実習・研究用機器	実習における試料、試料の重量測定
USBデジタル顕微鏡・一式	1-8684-04	1	基礎実習・研究用機器	実習における細菌数、コロニー数の計測
Takara PCR Thermal Cycler Dice(グランジエント機能付)	TP600	1	基礎実習・研究用機器	病原細菌の解析
振とう培養用非接触濁度計	OD Box-A	1	基礎実習・研究用機器	実習用細菌の培養
ノートパソコンMacBook	MC240J/A	1	基礎実習・研究用機器	授業・実習の資料作成
デスクトップパソコン Mac mini	Education ZONN	1	基礎実習・研究用機器	講義実習のスライド・レジメ作成 研究データの解析
モノクロコピー・複合機一式	Satera MF7430	1	視聴覚用機器	配付資料作成等
ノートパソコン・MacBook Air	MJVM2J/A	1	視聴覚用機器	講義資料作成等
ノートパソコン・Mac mini 一式	MGEM2JA	2	視聴覚用機器	講義資料作成等